

音楽科学習指導案

授業日時 平成 30 年 8 月 29 日 (水) 第 3 校時
 授業学級 1 年 A 組 男子 18 名 女子 21 名 計 39 名
 授業会場 音楽室 (309)
 授業者 _____
 指導教員 _____
 指導者 _____

1 題材名

「情景を思い浮かべながら、思いを込めて歌おう」(1 年 歌唱『赤とんぼ』)

2 題材の目標

ア【音楽への関心・意欲・態度】

- ・『赤とんぼ』を聴き、感じ取った雰囲気や歌詞の内容から、自己の抱いたイメージや感情をふくらませて歌唱表現しようと意欲的に取り組むことができる。

イ【音楽表現の創意工夫】

- ・『赤とんぼ』の曲の雰囲気や歌詞の内容と自分の思いを関連付けて、『赤とんぼ』にふさわしい表現を工夫することができる。

ウ【音楽表現の技能】

- ・『赤とんぼ』で自分の思いを表現するために、旋律・強弱・速度を関わらせて、歌唱表現することができる。

3 題材展開 (全 3 時間)

学習活動	時間
『赤とんぼ』の「懐かしさ」や「寂しさ」を歌い表すための工夫を、旋律に着目しながら、グループで話し合ったり歌い合ったりした。	1
作詞者の三木露風の生い立ちや、歌詞の内容を基に、作詞者の思いに気持ちを寄せながら表現を深める。【本時】	1
前時での追究を基にした表現を発表し、互いの表現のよさを共有し、自分たちの表現を追究してきた過程や視点を振り返る。	1

4 本時の主眼

作詞者の思いを表現するための工夫をしていく場面で、作詞者の生い立ちや生前の言葉に触れたり、歌詞の解釈を手がかりに、自分が追究したい部分(番)を選択し、同じ部分を選んだ友と歌詞や作詞者の思いに気持ちを寄せながら意見交換したり速さ、旋律、強弱に着目して歌い合ったりすることを通して、自分のイメージした『赤とんぼ』の表現を深めていくことができる。

5 本時の位置 (全 3 時間扱い中 第 2 時)

<前時>教師の演奏から感じ取った「懐かしさ」や「寂しさ」を歌い表すために、旋律線に着目して意見交換したり、歌い合ったりした。

<次時>追究した表現方法を発表し合い、互いの表現の工夫のちがいやよさを共有する。

6 指導上の留意点

- ・高音域を歌うときに、変声期中で声が出しづらい生徒が無理をしないよう配慮をする。
- ・グループ活動の場面では、一人一人が主体的に話し合いや練習に取り組むことができるよう、4 人程度でグルーピングする。

7 展開

過程	学習活動	予想される生徒の反応や意識(◎)	教師の支援(・)と評価	時間
導 入	1 前時を振り返りながら、表現を工夫するための視点について話し合い、学習課題を設定する。	◎前の授業では旋律から懐かしい感じで歌った。今度は歌詞に注目してみたい。 ◎切ない何かを表している感じがする。 ◎誰かの物語みたいになってると思う。 ◎この歌詞は作詞者のことを表しているんじゃないかな。 ◎作詞者はどんな人なんだろう。	・「歌詞から追究したい」という振り返りを書いている生徒に発言を促し、「この歌詞はどんなことを表しているのだろう」と尋ねることで、作者の思い出や生い立ちに関心を向けることができるようにする。	7
	2 作詞者の生い立ちを知り、どのような思いが込められているかを考える。	◎これは作詞者の体験が歌詞になっていたんだ。 ◎桑の実を摘んだ思い出は、姐やとのよい思い出だと思うな。 ◎姐やからの手紙が来なくなって、三木露風さんはさみしいと思うな。	・作詞者の生い立ちをまとめたパワーポイントを提示し、『赤とんぼ』の歌詞と関係ありそうだと感じたところに線を引くように促すことで、作詞者の思いを想起することができるようにする。	8

		◎「負われてみたのはいつの日か」の部分は懐かしい気持ちが込められていると思うな。	- 自分の考えた作詞者の思いを発表した生徒に「どうしてそのように感じたのですか」と問い返すことで、思いの根拠になる歌詞や生い立ちを明確にすることができるようにする。 - 思いを考えることが難しい生徒には、歌詞の一部を焦点的に提示することで、場面を絞って作詞者の思いを想像しやすくすることができるようにする。	
	学習課題：歌詞の内容や作詞者の生い立ちから、『赤とんぼ』に込められた作詞者の思いに心を寄せ旋律、強弱、速さを工夫して表現していこう。			
展	3 自分が追究したい部分（番）をどう表現したいか、グループごとに意見交換し、歌い合わせる。	◎私は思い出を表現してみたいから2番を選ぼう。 ◎私は姐やが嫁に行ってしまったところの悲しい気持ちを表現したいから3番がいいな。 ◎1番の「いつの日か」は昔のことを思い出しているから、懐かしい感じが出るように優しく歌うのはどうかな。 ◎2番の桑の実を摘んだ思い出は、作詞者の中でも楽しい思い出だと思うから、明るく歌うのはどうかな。 ◎3番は姐やが嫁に行ったら手紙の返事が来なくて悲しいから、「絶えはてた」の部分を消えるように歌ってみよう。 ◎4番は過去を振り返って懐かしんでいる気持ちになっていると思うから、最後はゆったりした感じがいいな。 ◎4番は一番最後の歌詞だから終わりという感じを出したいからゆっくり歌うのはどうかな。 ◎今と昔の区別を表現するためにテンポを少し変えてみるのはどうかな。 ◎3番の「絶えはてた」の部分は少しゆっくり歌うのも悲しさを表現できると思うな。 ◎4番の最後は最初からゆったりするのではなくて、だんだんゆったりした感じに歌っていった方が懐かしい感じを出すことができると思うな。	「自分が追究してみたいと思う歌詞はどこですか」と尋ねることで、こだわりをもって作詞者の思いを追究しようとする意欲を高めることができるようにする。 - 工夫するためのポイント（速度、強弱、旋律）をフラッシュカードで提示することで、表現を工夫するための手がかりを確認することができるようにする。 - 自分たちの願いが十分に表現できていない生徒には、その部分の表現に結びつくようなキーワードを伝えることで歌い方の工夫をするポイントを考えることができるようにする。 - 同じ歌詞や部分（番）に注目した者同士でグループを作ることで、こだわりを持って歌詞を理解して表現していくことができるようにする。 - 客観的に聴くことができるようにグループの中で聴き役を決めて練習する場を設定することで、互いにアドバイスすることができるようにする。	25
開	4 他のグループの発表を聴き、表現のよさを共有する。	◎「いつの日か」の部分を優しく歌うことで懐かしい感じを出すことができるんだね。 ◎「絶えはてた」を消えるように歌うことでさびしさを表現することができるんだ。	『赤とんぼ』の歌詞の内容や作詞者の思いに気持ちを寄せながら歌い方を工夫できたか、歌っている様子やグループ活動での発言から評価する。 - 歌詞の内容や作詞者の思いに気持ちを寄せた歌い方の工夫が難しい生徒には、同じグループの仲間の工夫をどのように感じるのか教師がともに確認することで、仲間の工夫を取り入れることができるようにする。 - 表現の深まりが感じられたグループの発表の場を設定し、全体で共有することで、新たな表現の工夫を感じ取ったり、自分の表現が歌詞の内容や作詞者の思いに気持ちを寄せた表現になっているかを確認することができるようにする。	5
	5 本時の振り返りをする。	◎作詞者が昔のことを思い出していて懐かしいという思いを、優しく歌うことで表現することができたと思う。	「歌詞の内容や作詞者の思いに注目したことで、どのように表現が変りましたか」と尋ね、本時の振り返りを書く	5

終 末		◎作詞者の姐やが嫁に行ってしまう悲しいという思いを、悲しく消えるように歌うことができた。 ◎4番の過去を振り返って懐かしい気持ちを、ゆったりした感じで表現することができた。 ◎他のグループがどんな表現していたかをもっと聴いてみたい。	ように促すことで、自分の表現の深まりを感じることができるようにする。	
--------	--	--	------------------------------------	--

8 板書計画

他にどんな部分から追究ができる？ ○歌詞 ○強弱 ○作詞者 どのような思いが込められている？ ○「負われてみたのはいつの日か」→懐かしい ○姐やからの手紙が来ない →寂しい ○2番思い出 → よい思い出 →楽しい	学習課題：歌詞の内容や作詞者の生い立ちから、『赤とんぼ』に込められた作詞者の思いに心を寄せ旋律、強弱、速さを工夫して表現していこう。 工夫するための ポイント 旋律（メロディ） 強弱 速度 拡大楽譜 (例)
--	--

9 使用教材

ワークシート
コピー譜
拡大楽譜
パワーポイント

10 資料

赤とんぼ

作詞: 三木 露風

作曲: 山田 耕筰



み き ろふう
三木 露風 (本名: 三木 操)

1889 年～1964 年

兵庫県たつの市生まれ。

5 歳の時に両親が離婚し、
子守娘に育てられる。

だが 15 歳で子守娘は嫁に
行ってしまう。

16 歳で最初の詩集「夏姫」
を刊行し、叙情的な作風の
詩人として活躍した。

1921 年に「赤とんぼ」を
作詞した。

一
夕やけ小やけの 赤とんぼ
負われてみたのはいつの日か

二
山の畑の 桑の実を
小籠に摘んだは まぼろしか

三
一五で姐やは 嫁にゆき
お里のたよりも 絶えはてた

四
夕やけ小やけの 赤とんぼ
とまっているよ 竿の先

♪どんな思いが込められている？

♪どのように表現しよう？

工夫する
ポイント

- ◎旋律
(メロディ)
- ◎強弱
- ◎速度

♪どのように表現がよくなりましたか？